

# さみどり

にのみや学園

二宮町立一色小学校 学校だより  
令和5年度 第7号 (3/15発行)



一色小学校は創立59年目を迎えました。

卒業式を来週に控え、今年度もあとわずかとなりました。今年度はコロナ禍を抜け出し、様々な行事も思いっきり楽しむことができ、子どもたちのマスクのない笑顔もたくさん見ることができました。異学年での交流も多く行い、お互いに認め合い高め合う姿がたくさんありました。来年度も、子どもたちの成長にとって何が大切かということを中心に考え、授業や学校行事など、様々なことを進めていきたいと思えます。

今年度も、保護者の皆様及び地域の皆様には、子どもたちの安心・安全な登下校の見守り、校内の環境整備や教育活動へのご理解、ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

## 6年生を送る会

今年度は、久しぶりに体育館に全校で集まって、行うことができました。各学年の出し物からは、これまでいろいろな場面でお世話になった6年生に対する感謝の気持ちとそれに対するお礼の気持ちが十分に伝わってきました。保護者や日頃見守りをしてくださっている地域の方、サポーターの方々にも参観していただき、体育館いっぱい笑顔があふれていました。

1年生は、入学式の時に6年生に演奏してもらった『おもちゃのチャチャチャ』を、今度は1年生が6年生へ気持ちを込めて演奏しました。はじめに、「入学式でおもちゃのチャチャチャを演奏してくれてありがとう」「6年生のおかげで小学校が楽しくなったよ」「6年生がいてくれてうれしかったよ」と言葉を伝えて演奏し、最後に「ありがとう」「ずうっと大好きだよ」とプラカードと言葉で思いを届けました。

2年生は、『にこにこおひさま』を振付けとともに歌いました。「笑顔はみんなの笑顔につながる」がテーマのこの曲を2年生は1年間を通じて楽しみに歌って踊ってきました。最後になる「6年生を送る会」では、歌詞や振付けをブラッシュアップして、おひさまのお面をつけ、ハートのフリップを持って、本当に楽しそうに演じました。6年生だけでなく、会場中がにこにこ笑顔になりました。

3年生は、「6年生に楽しんでほしい」という思いから、「どっちが知っているかな?一色小クイズ」として、3年生対6年生のクイズ対決をしました。練



習の時から、どうしたら6年生に楽しんでもらえるかをみんなで考え、一生懸命に準備をしました。

本番では6年生も一緒になって楽しんでくれて、とても盛り上がりました。少し緊張しながらも、楽しんで行うことができました。

4年生は、『ドレミのうた』の替え歌を披露しました。本番に向けて、授業参観でお家の方と一緒に歌詞を考えたり、国語の時間にこっそり歌ったり、たくさんの準備と練習をしました。本番は緊張しながらも、練習よりもさらに一人ひとりの



思いが込められていました。本番で伝えきれなかった「ありがとうメッセージ」は、卒業式の日には6年生の教室近くに掲示する予定です。6年生には、この4年生の熱い思いを受け取り、卒業して行ってほしいです。

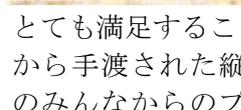
5年生は、『情熱大陸』を演奏しました。自分たちで曲を選び、1月後半から練習を始め、休み時間にパートごとに集まって練習をしたり、音楽の時間に全体で合わせたりして、曲を完成させました。本番では、緊張した面持ちで臨んでいましたが、演奏が始まると気持ちが入り、6年生への思いを込めて演奏することができました。次は自分たちが最上級生です。



6年生は、クラスみんなで話し合い、「みんなを笑顔にしたい」「私たちのことを忘れないでほしい」という思いから、『ものまね・ダジャレ23連発』



と題し、一人ずつマイクを持って、ステージでダジャレやものまね、特技や一発ギャグを披露しました。全校のみんなが楽しんでくれて、たくさんの笑顔を見ることができ、とても満足することができました。最後に1年生から手渡された縦割り班



のみんなからのプレゼントのお手紙も、教室でうれしそうに見ていました。

在校生は、6年生からのバトンをしっかりと受け継ぎました。6年生は、一色小の卒業生だということを誇りに、中学校でもがんばってください。

